



えぞひぐま館で「ヒグマと共に暮らす未来」を考えてみませんか？



ヒグマの良心に頼った 私たちの日常を大切に

お盆期間に開催した夜の動物園が無事終了しました。今年は、3世代での家族連れや、若い世代の来園者が多い印象を受けました。8月に旭山公園でヒグマが目撃されました。この時期に郊外で目撃されるヒグマは、親から離れた若いオスが自分の生活圏を求めて出てくる「一見さん」のクマがほとんどで、そのうちいなくなるのですが、今回は当園のトンこよりも体格が良い成獣でした。今年も21世紀の森から旭山近郊にかけて家庭菜園などの被害が多く、足跡から複数のヒグマが食べ物を求めて出沒し、ヒグマ注意報が発令される事態になっています。

庭先の被害は気付きやすいのですが、山や川に隣接した農地での「盗み食い」には気付きにくく、エゾシカやアライグマも多く生息しているためヒグマの被害だけを特定するのは困難です。夏から秋にかけては山

の恵みが乏しい時期ですが、ヒトの生活圏では実りの時期です。これは、ヒグマがヒトの生活圏を本格的に取り込み始めた兆候なのかもしれません。今年は、旭山近辺を拠点に活動する長期滞在型ヒグマが出現する可能性があります。ヒグマと不意に出合ってしまうと危険なので旭山公園は封鎖しますが、人払いをするヒグマにとっては居心地のいい場所になるので、対応は難しいですね。

本来ならヒグマは臆病で慎重、さらに冷静にヒトの動きを観察しているため、日中に目撃することはほとんどありません。むしろ今はヒグマがヒトと出合うことを避けてくれています。ヒグマの良心に頼った、私たちの日常が続いているともいえます。この関係だけは壊してはいけません。この関係を壊す一番の原因は食べ物です。ごみのポイ捨てが、積極的にヒトに近づく「悪いクマ」に豹変させてしまうのです。まずは、山でも市街地でも、ごみのポイ捨てはしないように心掛けましょう。

旭山ピックアップ

あにまる・ハッピー・マーケットを開催

「循環」をキーワードに、自然や野生動物から資源を奪い続けるのではなく、商品を購入することで「野生動物との共存」につなげるマーケットです。グッズ販売の売上げは、環境保全活動に役立てられます。

とき 9/18(日)・19(月) 9:30~17:15 (詳細は同園HPに掲載)



【詳細】旭山動物園 (東旭川町倉沼 電話36・1104)

夏期開園日・時間

- 10/15(土)まで 9:30~17:15
 - 10/16(日)~11/3(木) 9:30~16:30
- ※期間中は無休。いずれも入園は16:00まで。

旭山動物園をもっと楽しむ

ワンポイントガイド

- ☑ 飼育員が動物のエピソードなどを紹介
- ☑ 毎週日曜日・祝日 13:30から

園内イベント

詳細は決まり次第、同園HPに掲載

